

# 炎症性腸疾患に対する新薬の特集

## 第4弾 スキリージ® (一般名: リサンキズマブ)

### —クローン病—

#### 特徴:

クローン病患者さんの体内にはインターロイキン 23 (IL-23)

という炎症を引き起こすタンパク質が多く存在することが

知られており、これが腸管での炎症を起こす原因の一つと考

えられています。スキリージ®はこの IL-23 の一部である IL-23p19 蛋白に結合し IL-23 の働きを中和する

ことで免疫機能を抑制し、腸管に対して抗炎症効果を発揮します。ヒトの免疫細胞から遺伝子組み換え技術

を利用して作成されており、ヒト化抗ヒト IL-23p19 モノクローナル抗体製剤と呼ばれます。スキリージ®

は 2019 年 3 月に尋常性乾癬、関節症性乾癬 (乾癬性関節炎)、膿疱性乾癬、乾癬性紅皮症に対する治療薬

として承認されていますが、2022 年 9 月にクローン病に対する治療薬として承認されました。中等症から

重症のクローン病の寛解導入療法および寛解維持療法に使用することができます。臨床試験では既存の生

物学的製剤が効かないか、もしくは効かなくなった症例についても寛解および維持治療に有効であること

が報告されています。

#### 使用法:

寛解導入療法では点滴製剤を 4 週毎に 3 回投与し、その後、寛解維持療法として皮下注射製剤 (オートド

ザーを用いて約 5 分間かけて投与します) を 8 週毎に投与します。寛解維持療法中に効果減弱 (効果が弱く

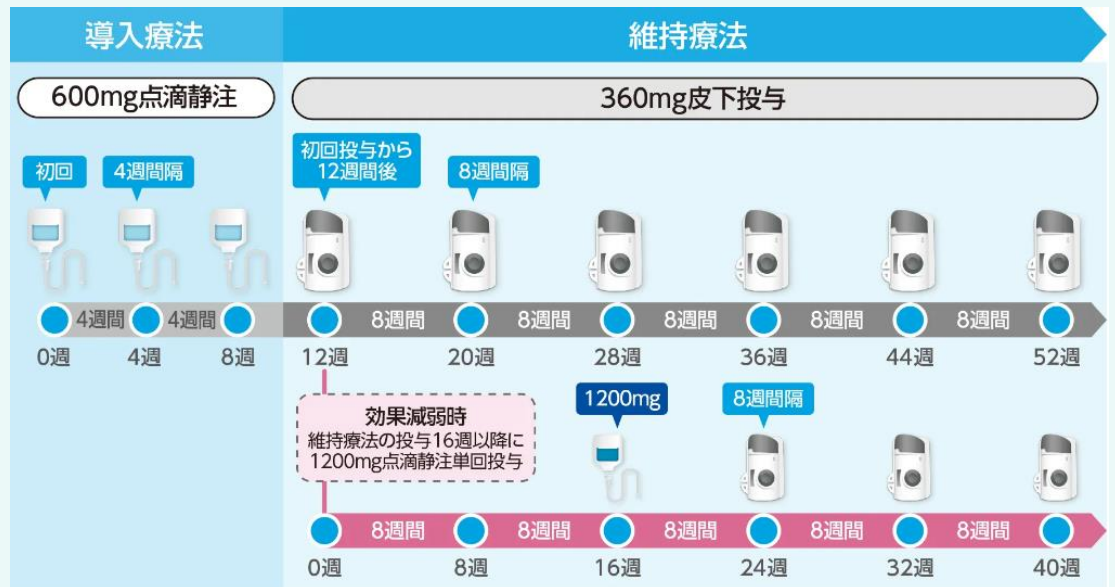
なってきた) と診断された場合は点滴製剤を増量して投与することも可能です (単回のみ)。維持療法は皮

下注射となるため短時間での投与が可能です。



## 注意点：

スキリージ®は免疫機能を抑える可能性があるため、重篤な感染症にかかっている方、活動性結核（治療が必要な結核）の方、過去にス



キリージ®に含まれる成分で過敏症のあった方には、投与することができません。医師または薬剤師と十分にご相談ください。 次回はオンボー®についてご紹介させていただきます。

(文責：梅田智子)



北里大学北里研究所病院  
Kitasato University Kitasato Institute Hospital